

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

# CASBEE 新築[簡易版]

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追加版Ver.2 (BPI/BEI対応)

# 評価結果

使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010bpi&bei(v.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	介護付有料老人ホーム・サービス付高齢者向け住宅「ファンコート厚木」	階数	地上3F
建設地	厚木市上依知字溝野181番地、他	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	110人
気候区分		年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2015年8月 予定	評価の実施日	2014年5月20日
敷地面積	5,400 m <sup>2</sup>	作成者	(株)奥野設計
建築面積	2,192 m <sup>2</sup>	確認日	2014年5月20日
延床面積	6,098 m <sup>2</sup>	確認者	(株)奥野設計



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.4** ★★★★★

S: A: 3.0 B+: 1.5 BEE=1.0 B-: 0.5 C: 0

環境品質 Q

環境負荷 L

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

建設 建築・更新・解体 運用 オンサイト オフサイト

参照値

建築物の取組み

上記+ 以外の

上記+

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能

Q1 室内環境

Q3 室外環境(敷地内)

LR1 エネルギー

LR2 資源・マテリアル

LR3 敷地外環境

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

**LR のスコア = 3.6**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
地球環境への配慮とともに、経済的観点からの省資源・省エネルギーを図る。また、災害時対応、景観や緑化への配慮を通じて地域に愛される施設づくりを目指した。	受水槽の配置、備蓄倉庫の設置、屋上スペースのしつらえにより、災害時における避難場所として地域に貢献できる計画とした。
<b>Q1 室内環境</b> 全ての開口部にT-2等級以上のサッシを採用し、各室にバルコニーとカーテンを設置した。	<b>Q2 サービス性能</b> 基本設計の段階から建物の機能を促進する内装計画を行った。 外装には低汚染型の塗装を、内装は塩ビ床、壁紙を採用し、維持管理の容易な計画とした。
<b>LR1 エネルギー</b> 照明設備にLED照明を採用した。建物全外周を断熱材充填とした。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 建材の再利用が可能なように内装には乾式工法を多様する計画とした。
	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 建物の形状、外観の色彩において、周囲の環境とバランスよく調和するよう配慮した。 建物内に多目的ホールを設け、地域の交流に貢献する計画とした。
	<b>LR3 敷地外環境</b> 緑化、廃棄物、景観、雨水流出抑制の事前協議を行なっている。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい